



南神戸パトロール 5月

油断しない 安全に見えても危険かも
～海、川、山は見た目で危険が分からない～

4月、5月の行楽期から気温の上昇とともに、海や川でのウォータースポーツ・釣り・水遊び、春山登山などのアウトドアレジャーが盛んになります。

アウトドアレジャーでの事故を防ぐためには、自然を甘く見ず、危険をきちんと認識し、計画を立てて行動することが大切です。

【水難防止】

◎ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水(海)藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかないようにしましょう。また、子供を危険箇所に近づけないようにしましょう。

◎ ライフジャケットの活用

ボートや釣り等で水辺に行くときは、必ず体のサイズに合ったライフジャケットを正しく着用しましょう。

◎ 遊泳時の安全確保

- 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内には入らないようにしましょう。
- 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊してはいけません。
- 遊泳区域以外の水域で遊泳しないようにしましょう。
- 遊泳中、他人に抱きつくなどの危険な行為をしないようにしましょう。
- 水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳しましょう。



◎ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、**子供一人では水遊び等をさせず**、幼児や泳げない学童等には、**必ずライフジャケットを着用させ**、保護者等が付き添うなどして、**目を離さないように**しましょう。